

伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 長島町白鷄の揖斐川左岸の粗朶沈床沈設作業(2)

エリア： 三重県

撮影箇所： 長島町

撮影日： 1959 年

撮影者： 旧建設省

資料提供者： 木曽川下流河川事務所

状況： ー

現地状況、コメント等

〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見（座談会）〕
粗朶沈床を沈め始めているところである。船に乗っている石は、粗朶沈床上に投げ込み、沈めるためのものである。なお、長島町白鷄で用いた石は、三河の幡豆から調達したものである。

体験伊勢湾台風（建設省中部地方整備局、昭和 60 年）p144 に粗朶沈床についての解説がある。それによると、粗朶沈床とは、粗朶で縦横 1m の格子を造り、複数の格子をつなぎ、長さ 10～20m、幅 6～10m、厚さ 0.6～0.9m に組み上げたものとされている。これを堤防の破堤口に運び、石を投じて一気に沈める。上から土砂をかけると、粗朶沈床が砂の流失を防ぎ、水深を浅くすることとなる。なお、この作業を繰り返し、水面まで水深が浅くなってから、土のうを積み上げ、水切りするとされている。

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用